

## 事例4 第6学年 内容項目：B 相互理解、寛容

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| ・座席の工夫            | ・教材提示の工夫             |
| ・「人間理解」を深める話合い    | ・立場を明確にした多面的・多角的な話合い |
| ・「価値理解」を深めるための話合い | ・多面的に考える話合い          |
| ・自己を見つめる書く活動      |                      |

### 1 主題名 広く受け入れる心

- 2 **ねらい** 自分の心の中にある自分本位になりやすい弱さや相手を理解する気持ちを多面的・多角的に考える学習を通して、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重していこうとする心情を育てる。

**教材名** ブランコ乗りとピエロ（出典：「生きる力 6」日本文教出版）

### 3 主題設定の理由

#### (1) ねらいや指導内容について

本時は、小学校第5学年及び第6学年の内容項目「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心もち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。」に関するものである。中学年の「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること。」に関連し、中学校「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。」に発展していく。

人間は、自分の立場を守るため、つい他人の失敗や過ちを一方向的に非難したり、自分と異なる意見や立場を受け入れられなかったりする。よりよい人間関係を築いていくためには、相手の立場や気持ちを考え、異なった意見に対しても、広い心をもって受け入れることが大切である。また、自分自身の至らなさを目を向け、他人の過ちを許し、相手から学ぼうとする謙虚な姿勢をもつことも大切である。

指導に当たっては、自分と異なる意見や立場を尊重することで、相手の過ちなどに対しても、自分にも同様のことがあることとして謙虚な心、広い心で受け止め、適切に対処しようとする心情を育てることが大切となる。

#### (2) これまでの学習状況及び児童の実態について

本学級の児童は、これまでに学級活動を中心に、各教科等の様々な学習を通して話合い活動を行ってきた。友達の考えを聞き、自分の考えと比べ、折り合いをつけながら物事を考えることができるようになってきている。道徳の授業においても、自分の考えを伝えるだけでなく、友達の考えを基に自分の考えをより深めることができるようになってきた。

日常生活において、下級生に対しては相手を尊重し、広い心で接することができている。しかし、同学年の友達に対しては、自己中心的な言動からトラブルになることがある。ほとんどの児童が、相手にされたことだけを主張し、自分の言動だけが正しいと思い込み、相手のことを考えないで行動してしまっている。人はそれぞれ考え方が異なり、自分にも同様なことはなかったかと考えたり、相手から学んだりしていくことが大切である。他者と関わりながら謙虚な心もち、お互いに尊重しながら高め合おうとする心情を育てたい。

#### (3) 教材の特質や活用方法について

本教材では、サーカスをまとめるリーダーのピエロと花形スターのサムが対立するが、最後には理解し合う姿が描かれている。身勝手に振る舞うサムに腹を立てていたピエロは、演技後に疲れ果てた様子のサムに接し、サムの立場や考えを受け入れて自分の思いを伝える。サムもピエロを受け入れ、互いに認め合う関係になるという話である。

主に次の場面を話し合うことにする。

##### ①時間を過ぎても演技を続けるサムをカーテンの間からピエロが見ている場面

勝手に演技を続けるサムに対して腹が立っているピエロに共感させる。

##### ②控室に戻り、サムが腹を立てている場面





サムの演技後の疲れ果てた様子を思い出しながら、サムに対する思いで葛藤しているピエロについて考えさせる。

③団員の前でピエロが話す場面

なぜピエロの心の中からサムを憎む気持ちが消えたのかについて考えさせる。

以上の理由から、本主題を設定した。

4 学習指導過程

| 段階  | 学習活動と主な発問  | 予想される児童の反応   | ・指導上の留意点 ☆評価の視点  |
|---|--|--|--|
| 導入  | <p>1 自分とは異なる考えに出会ったことを思い出す。</p> <p>・相手のことが許せないと思ったことはありますか。そのとき、どんな気持ちになりましたか。</p>                   | <p>・イライラする。</p> <p>・一緒にいたくないと思う。</p> <p>・我慢する。</p> <p>・そのときは我慢して、後で誰かに話す。</p>  | <p>・指導上の留意点 ☆評価の視点</p> <p>・生活の中で起こるトラブルを想起させながら、ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。</p>  |
| <div data-bbox="619 577 1177 667" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">座席の工夫</div> <div data-bbox="619 696 783 891" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">お互いに顔が見えるよう、コの字とした。</div>   |  |  |  |
| 展開  | <p>2 教材「ブランコ乗りとピエロ」の読み聞かせを聞き、主人公(ピエロ)の気持ちを中心に話し合う。</p> <p>(1)カーテンの間からサムの演技を見ているピエロはどんな思いだったでしょう。</p> | <p>教材提示の工夫</p> <div data-bbox="619 965 970 1417" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <div data-bbox="619 1115 783 1346" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">登場人物を関連図で示し、捉えやすくした。</div>  </div> <p>・許せない。</p> <p>・いい気になって。</p> <p>・何を考えているんだ。</p> <p>・自分ばかり目立ってずるい。</p> <p>・自分も大王様に見せたい。</p> | <p>・登場人物や条件・状況を整理する。</p> <p>・場面絵を使ってサムの態度が許せないという腹立たしさや不満、悔しさに十分共感させる。</p> |
| <div data-bbox="256 1653 715 1731" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">「人間理解」を深める話し合い</div> <div data-bbox="786 1653 1241 1742" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">児童の発言を受容し、腹立たしい気持ちを更に深めた。</div> <div data-bbox="256 1749 1225 2078" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>T：カーテンの間からサムの演技を見ているピエロはどんな思いでしたしょう。</p> <p>C：なんで一人で目立っているんだ。</p> <p>C：なんでリーダーの言うことを聞かないんだ。</p> <p>T：本当ですよ。みんなでやっているのに・・・リーダーの言うことは聞かないとダメですよ。</p> <p>C：そうそう、あれほど時間を延ばすなって言ったのに。</p> <p>C：許せない。時間がなくなってしまふ。</p> </div> <div data-bbox="1241 1659 1425 2078" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <p>自分ばかり目立って、なんでリーダーの言うことを聞かないんだ。あれほど言ったのに、時間が...</p>  </div> |  |  |  |

(2) 団員から無視されているサムを見て、ピエロはどんなことを考えたでしょう。  
(中心発問)

- ・サムの頑張りはわかったけれど、すぐに許すことはできない。
- ・サーカスが大成功したとしても勝手な行動はだめ。
- ・みんなで作っているのだから、約束は守らないといけない。
- ・サムは一生懸命だった。
- ・努力をしていたんだ。
- ・サーカス団のためにやっていた。

・演技後の疲れ果てたサムの姿を思い出して、サムの頑張りや努力を認めたいという思いと、成功したとしても勝手なことをしたサムは許せないという二つの思いを多面的・多角的に考えさせることで、本時のねらいに迫り、道徳的価値の理解を深める。  
☆ピエロがサムを広い心で許すことの難しさや受け入れる時の思いや考えなどを多面的・多角的に考え、立場を明確にしながら理由を明らかにして発言している。

立場を明確にした多面的・多角的な話し合い

T：無視されているサムを見たピエロはどんなことを考えている？

C：サムは頑張っていた。

C：みんなサムの疲れた姿を見ていないんだから、見てから文句を言ってよ。言葉をかけないのはひどい。

T：サムに対して少し気持ちが傾いているの？

C：そう。

T：他の気持ちの人いる？

C：サムは悪い。

C：自分勝手な行動ばかり。

T：サムに怒っている？

C：そう。勝手なことはしちゃダメだと思う。

T：自分勝手なことばかりするサムが許せないという思いと、疲れ果てた姿を見て、これまでの腹を立てていた思いが弱くなってきて許す思いの2つがあるね。

C：僕は「許す」ほうで、サーカスが大成功したからそれでいい。

C：私も「許す」ほうで、サムはすごく頑張っていたし、努力していたから、それを悪く言う権利はないと思う。

C：真っ青な顔になるまで頑張っていたから許す。

C：お客さんを楽しませていて、喜んでくれたからいい。

C：お客さんからサーカス団がよくみられるなら、それでいい。

T：自分はどうでもいいの？

C：うん。サーカス団がよければ。

T：他の人はどう？サーカス団がよければそれで許す？

C：自分の好き勝手やっているから許せない。

C：自分も大王様に演技を見せたかった。

C：自分のことだけでなく、サーカス団のみんなのことを考えて協力してほしい。

C：私は「許せない」ほうで、みんな努力して練習して、それで成功したと言えるから、お客さんに見せて大歓声をもらって成功ではない。みんなで協力した結果で大成功だと思う。

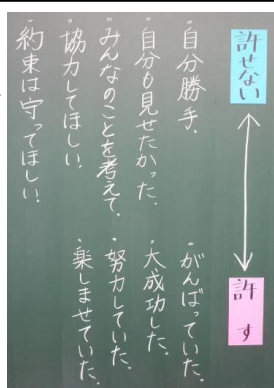
C：私も許せなくて、一生懸命やることはいいことだけど、やるなら、約束を守ってやってほしい。

T：一生懸命やっていることに関しては「許す」けど、約束を守らないから「許せない」のね？

C：そう。

T：許した方がいいことはわかるけど、やっぱり許せない思いがあるね。

「許せない」と「許す」の2つの思いがあることを押さえた。



自分本位、身勝手なサムを受け入れられないピエロの思いを出させるための問い返し。

人を許すことの難しさを共有させた。

(3)おだやかな目でサムを見ている時、ピエロはどんなことを思ったでしょう。

- ・自分も目立ちたい気持ちがあった。
- ・サムだけを責めていた。
- ・お客さんのために努力していたことがわかった。
- ・サムに対する見方が変わった。
- ・サーカスを成功させたい思いは同じだった。

- ・自分とは異なる考えを受け入れたピエロの心を変えたものについて話し合う。
- ・握手に応じるサムの気持ちを考え、ピエロの広い心や伝え合うことで異なる立場を尊重しようとする気持ちを押しさえる。
- ・「自分も目立ちたかった」「サムの演技が素晴らしかった」ことが、なぜ憎む気持ちが消えることにつながるのかを考えさせる。

### 「価値理解」を深める話し合い

C：サムはサムなりに努力をしていた。

T：どういうところを？

C：お客さんのことを考えて楽しませているところ。

T：お客さんのために努力をしていたんだね。

C：サムの頑張っている姿がすごいなと思った。

T：頑張っていたら気持ちは変わるの？

C：そういうわけではない。

C：サーカスが大成功したから。

T：大成功すれば、憎む気持ちも消えるの？

C：サムの一生懸命な姿に心打たれたから。

C：お客さんを楽しませるといふ思いが同じだったことに気付いたから。

C：真剣な姿を見て心が動いた。だから、優しい心がもてるようになった。

C：心が広がった。

T：心が広がったってどういうこと？

道徳的価値に迫るための問い返し。

C：相手の悪いところばかり見るのではなくて、いいところを見てお手本にしていこうと思う気持ちになったということ。

C：自分のことばかり考えないこと。

T：え？ピエロは自分のことばかり考えていた？

自分本位であったことに気付かせるための問い返し。

C：自分のことばかりではないけど、大王様に見せたい気持ちとか目立ちたい気持ちはあった。

T：目立ちたい気持ちがあったのに、憎む気持ちが消えたのはどうして？

C：相手の気持ちがわかったから。

T：相手の気持ちって？

C：お客さんのためとかサーカス団のためにやっていたとかが一緒だった。

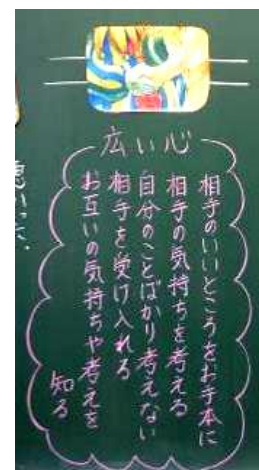
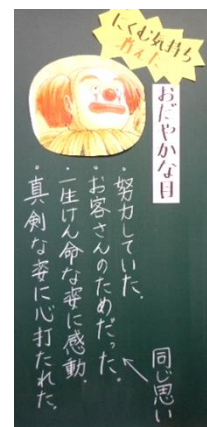
C：お互いの気持ちや考えを知ること。

T：相手のことを考えることも必要だけど、自分の気持ちや考えも伝えることが必要なのね。

C：自分のことを伝えないとわかってもらえない。

T：そういう心が広い心なんだね。広い心がもてるようになったから、サムを憎む気持ちが消えたのかな？

C：そうだと思う。





[補助発問]

・ピエロの話聞いて、サムはどんなことを思ったでしょう。

- ・自分にも勝手なところがあった。
- ・一緒に頑張っていこう。
- ・思いを伝え合うことで、みんなサーカス団をよくしていきたい。

- ・主人公（ピエロ）以外の登場人物の心情も考えられるようにする。
- ・自分の気持ちを受け止めて、努力を認めてもらえたからこそ、反省するだけでなく、前向きにピエロと向き合おうとするサムの気持ちを考えさせる。

多面的に考える話し合い

T：ピエロの話聞いて、サムはどう思っていたかな？

C：悪かったな。

T：何が？

C：勝手にやっていたことが。

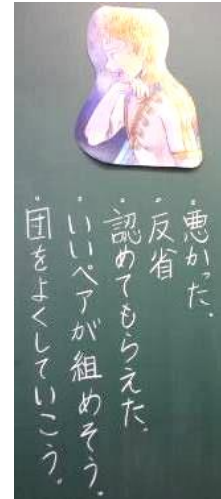
C：今までの自分を反省しよう。

T：気持ちが変わったきっかけは？

C：認めてもらえた。これから団をもっとよくしていきたい。

C：スター同士でいいペアが組めそう。

C：サーカス団のみんなとよくしていこう。



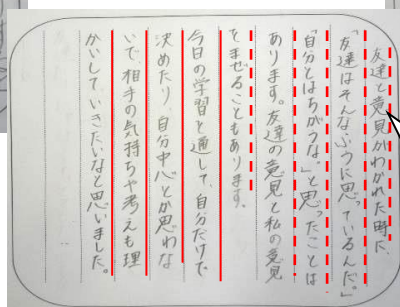
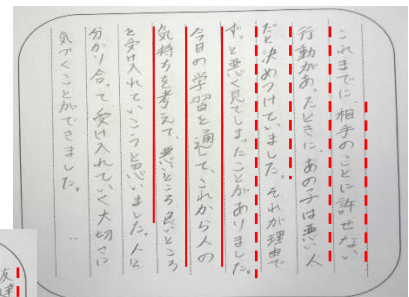
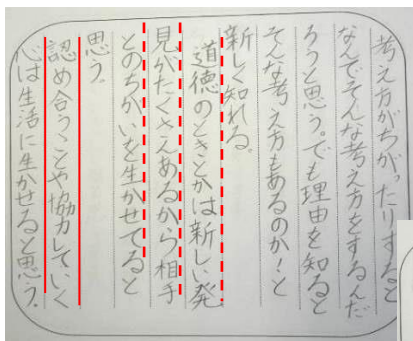
3 自己を見つめる。

・これまでに人と考え方や意見が違ったときに、広い心で相手のことを大切にできたことはありますか。また相手との違いをうまく生かせることはありますか。

・休み時間に何をして遊ぶか揉めそうになったが、友達の遊びたいことを優先した。でも次の休み時間には自分の遊びたいことをした。つい強く言うてしまうので自分にも直さないといけない部分があるかもと思うし、相手の考えや意見を受け入れられるようになりたいと思う。

・書く活動を取り入れ、道徳的価値に対して今までの自分をじっくりと見つめ、これからの生き方について考えが深まるようにする。  
☆自分と異なる考え方や意見を尊重できたことやその時の思いや考えをノートに記入している。

自己を見つめる書く活動



----- は  
自己を見つめる部分  
————— は  
生き方についての考えを深める部分

|    |         |  |
|----|---------|--|
| 終末 | 4 詩を読む。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・心のノート P.52～53 相田みつをの詩を紹介する。</li> <li>・自分の思いだけでなく、広い心で人の考えを大切にしていこうとする気持ちを高める。</li> </ul> |
|----|---------|--|



## 5 他の教育活動との関連

- ・修学旅行自由行動計画のグループ活動を通して、自分の考えを友達に伝えるとともに、友達の考えを聞き、多様さを認め合い、理解し合えるようにする。
- ・日常生活で他者と関わりながら、自分と異なる意見や立場を謙虚な心、広い心で受け止め、お互いに尊重し、高め合い、よりよい人間関係を築くことができるようにする。

## 6 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・主人公に自分を投影し、主人公の揺れる思いを多面的・多角的に考えている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・相手の考えや意見を受け止め、尊重することの大切さについて、自分との関わりで考えている。

## 7 考察

### (1) 道徳科の目標に示された学習活動

第1発問でサム的身勝手な言動に目を向けさせることで、ピエロに同調する思いをもたせるようにした。ここで腹立たしさや不満、悔しさを出させたことで、児童は自分事として捉え、考えることができた。

第2発問(中心発問)は、第1発問で自分事と捉え考えられていたので、「自分だったら・・・」と問うことはせず、「どんなことを考えていたでしょう。」で進め、自然な流れで児童は「許せない」「許す」に分かれ、立場を明確にし、それぞれの思いを語っていた。ゲートですれ違うときにピエロが目にしたサムの疲れ果てた姿から、今までの「許せない」思いと「許す」思いで揺らんでいるピエロの思いについて立場を明確にして、多面的・多角的に考えられるようにした。立場を明確にすることで他の児童の考えをよく聞き、比べ、より自分事として深く考えることができた。

第3発問では、自分自身と重ね合わせ、あれほどサムを憎んでいたのになぜ許すことができたのか、その核となっている広い心について考えさせた。自分の思いを伝えただけで、相手を理解する、受け入れることの大切さを理解していた。補助発問として、「ピエロの思いを知って、サムはどんなことを思ったのか」と立場を変えて考えさせることで、ピエロが自分の思いを伝えたことによって、サムの気持ちにも変化が生まれたことに気が付いていた。

自己を見つめる学習活動では、ワークシートに書かせたことによって、じっくりと自分自身と向き合い、自己を見つめることができた。

## (2) 視点☆に基づく本時の評価

### 【物事を多面的・多角的に考えている様子】

☆ピエロがサムを広い心で許すことの難しさや受け入れる時の思いや考え方などを多面的・多角的に考え、立場を明確にしなが理由を明らかにして発言している。

第2発問で、「許せない」「許す」の立場を明確にしたことで、お互いの立場の考えや思いが分かりやすくなり、うなずいたり、「そうか」などと言葉を発したりしながら多面的・多角的に考えることができた。

### 【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

☆自分と異なる考え方や意見を尊重できたことやその時の思いや考えをノートに記入している。

「自己を見つめる」部分では、これまでの自分自身を振り返り、相手を大切にできたこと、違いを上手く生かしたこと、生かせなかったこと等を素直にワークシートに記述していた。そして、主体的にこれからの自分のよりよい生き方について考えを深めていた。

ワークシートに記入する時に時間のかかってしまう児童に対し、個別指導で生活経験を想起させる事例を語りかけることで、一人一人が自分自身を振り返ることができた。

## (3) その他

教材文の結末から「許す」立場側の児童は授業に沿って進められるが、「許せない」立場側の児童は「許せないものは許せない」という思いが残る。そこで、「許した方がいいことは分かっているけれど、やっぱり許せない」という考え方の難しさを感じ取らせるようにした。また「許せない」を感じ取らせた後で「憎む気持ちが消えた」と進めることで、児童によっては大きな疑問が出てくる。その疑問を解消したり価値理解を深めたりするために、第3発問でその時のピエロの気持ちを追体験し、道徳的価値に迫る問い返しをした。前の場面で「許せない」気持ちが強かった児童も道徳的価値について理解を深めることができた。